

WorldCALL 2008: CALL BRIDGES THE WORLD



2008年8月5日～8日(福岡大学・福岡国際会議場)

【プログラム概要】

8月5日 会場：福岡大学 プレコンフェレンス：ワークショップ（別料金）

8月6日～8日 会場：福岡国際会議場 本大会

【基調講演】白井克彦（日本・早稲田大学）：音声情報処理技術の開発動向と言語学習環境の将来

Vera Menezes（ブラジル）：CALL: A Strange Attractor in Language Education in South America

Trude Heift（カナダ）：Intelligent Language Tutoring Systems – How Human & Computer Interacts –

Stephen Bax（イギリス）：The Future of CALL – Its Way to the “Normalization” –

【シンポジウム】「コンピュータ環境を利用した外国語教育の未来」パネリスト：WorldCALL 協力学会代表

【研究発表】【ポスターセッション】【スペシャルプロジェクト】【ウェルカムレセプション】その他

【大会参加費】 一般：30,000円 LET会員：24,000円

早期割引（2007年9月～2008年4月）一般：24,000円 LET会員：18,000円

研究発表募集：2007年9月～11月

大会登録開始：2007年9月

WorldCALLは、欧州のEUROCALL、CERCLES、北米のCALICO、IALLT、CCAQLL/CELAO、オーストラリアのATELL、そして日本のLET（外国語教育メディア学会 The Japan Association for Language Education and Technology）が提携・協力している研究教育機構です。CALLやTELLを研究領域とし、1998年以来、5年ごとに世界大会を開催しています。2008年の第3回大会はLETが誘致し、日本で開催されます。奨学金を支給しCALL普及途上国からの大会参加も援助しているWorldCALLの大会には、世界各国から500名以上の参加が見込まれています。語学教育に係わる研究者・教育者が一堂に会する大会に、多くの方のご参加をお待ちしております。

発表応募・参加登録等、詳細情報は、以下の大会ホームページにてご覧ください。

<http://www.j-let.org/WC3/>